

令和元年6月教育委員会定例会 会議録

令和元年（2019）6月25日（火）午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	小 豆 澤 貴 洋
教 育 委 員	水 陽 子
教 育 委 員	錦 田 剛 志
教 育 委 員	金 築 千 晴

2 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	植 田 義 久
教育部次長（教育政策課長）	建 部 敏 紀
市民文化部次長	
（文化スポーツ課長）	三 代 均
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	兒 玉 浩 二
教 育 施 設 課 長	園 山 裕 二
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 長	矢 田 浩 一
学 校 教 育 課 主 査	山 崎 創
児童生徒支援課課長補佐	渡 部 俊 樹
保 育 幼 稚 園 課 長	鬼 村 修 治
出 雲 中 央 図 書 館 長	柳 楽 伸 一 郎

3 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

4 傍聴者

1 人

開会

(榎野教育長) 只今から、令和元年6月出雲市教育委員会定例会を開会します。
本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 新教育委員あいさつ

(榎野教育長) 先ずはじめに、6月11日に教育委員に就任されました、金築千晴委員
からご挨拶をいただきたいと思います。金築教育委員、よろしくお願いします。

(金築委員挨拶)

2 教育長行政報告

(榎野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。(以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

R1.5.29	保幼小連携推進委員会
R1.5.30	いじめ問題対策委員会
R1.5.30	学校給食会理事・評議員会
R1.5.31	出雲地区租税教育推進協議会
R1.5.31	市危機管理推進会議
R1.5.31	校長の会議
R1.5.31	自治会連合合同会
R1.6.4	奨学事業運営委員会
R1.6.5	ポイ捨て一掃大作戦
R1.6.6	学校保健会理事・評議員会
R1.6.7	檜山小学校・東小学校再編統合推進委員会
R1.6.13	市議会初日 ～7.2
R1.6.17	市議会一般質問 ～6.20
R1.6.24	市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会
R1.6.25	定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

R1.7.2	市議会最終日
R1.7.3	社会を明るくする運動メッセージ伝達式
R1.7.4	教頭会総会
R1.7.8	教育政策審議会
R1.7.9	学校訪問 7.10、7.12
R1.7.10	校長の会議

R1.7.11	小中連携推進委員会
R1.7.17	島根県市町村教育委員会連合会総会・研修会
R1.7.20	JAXA 宇宙飛行士講演会
R1.7.23	定例教育委員の会議

(3) 一般質問

No.	議員氏名	質問要旨
1	大場利信	暗い通学路の解消を 通学路が暗いとの意見が市民の方から言われている。また、中学生議会でも質問が出ている。特に、部活動等で遅くなる中学生の通学路の安全対策について、以下伺う。 ①設置基準および経費負担 ②通学路の防犯灯の過去5年間の申請と設置の状況について ③過去5年間の申請に対する地域ごとの設置率とこれに対する防災安全部長の見解 ④教育委員会として、日照時間の短い時期の暗い通学路での下校について各学校にどのような指導をしているのか。
2	神門至	インフルエンザなどの任意予防接種費用の助成について 毎年、市内の保育所、幼稚園、小・中学校では、1月頃をピークにインフルエンザなどの感染症が発生し、多くの幼児・児童への感染により、休園や学級閉鎖が余儀なくされる中、保護者はその対応や医療費などへの不安が山積している。一方、市が負担する医療費も増加する中、その予防対策の一つとして予防接種の制度化を図るべきと考える。そこで、次のことについて市の考えを伺う。 なお、数値の対象期間は、平成30年11月1日から令和元年5月31日までの数値をお願いする。 (1)インフルエンザによる保育所、幼稚園、小・中学校の施設別の欠席者数(患者数・出席停止者数など)について。 ①保育所、②幼稚園、③小学校、④中学校 (2)その感染による学級閉鎖等の処置をとられた状況について。 ①閉鎖施設数(延)及び閉鎖判断(誰が)は ②閉鎖による教育現場での影響は (3)その欠席者(患者など)の医療費について。 市が把握している医療費総額(通院・入院費など)は (4)予防接種を制度化した場合の市の負担について。 ①小学校6年生児童までの経費は ②中学校3年生生徒までの経費は

		(5)これまで市民が求めている任意予防接種費用(インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス)予防接種の公費助成について、市の考えを伺う。
3	本田一勇	不登校の子供達を救うにはどうすればいいか ①不登校の子供は市内にどのくらいいるのか。 ②その子供達への支援策はあるか。 ③不登校から登校できるようになった事例があれば教えてほしい。またどのようにして登校ができるようになったか教えてもらいたい。

(榎野教育長) 只今の報告で、質問等がありますか。

(各教育委員) ありません。

3 会議録の承認

(榎野教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回5月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 特に意見等ありませんので、5月定例会の会議録については承認します。

4 議事

(榎野教育長) それでは、議事にはいります。最初に「議第16号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育部 建部次長 に説明をお願いします。

(建部次長) 資料に基づき説明

(榎野教育長) 只今の、議第16号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 特に質疑等がないようですので、議第16号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(槇野教育長) ご異議ありませんので、議第 16 号を承認します。

(槇野教育長) 次に、「議第 17 号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を、同じく、教育部 建部次長 に説明願います。

(建部次長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、議第 17 号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 特に質疑等がないようですので、議第 17 号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(槇野教育長) ご異議ありませんので、議第 17 号を承認します。

(槇野教育長) 次に、「議第 18 号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を、保育幼稚園課 鬼村課長 に説明願います。

(鬼村課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、議第 18 号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 特に質疑等がないようですので、議第 18 号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(槇野教育長) ご異議ありませんので、議第 18 号を承認します。

(槇野教育長) 次に、「議第 19 号 消費税法等の一部改正に伴う「出雲市立平田学習館の備付け備品の使用料を定める規則の一部を改正する規則」について」を、出雲中央図書館 柳楽館長 に説明願います。

(柳楽館長) 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 19 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 19 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 19 号を承認します。

（槇野教育長） 次に、「議第 20 号 出雲市立図書館協議会委員の辞任及び任命について」を、同じく、出雲中央図書館 柳楽館長 に説明願います。

（柳楽館長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の、議第 20 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 特に質疑等がないようですので、議第 20 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（槇野教育長） ご異議ありませんので、議第 20 号を承認します。

5 報告

（槇野教育長） それでは、報告事項に入ります。報告（1）「6 月定例市議会への提出案件について」のうち①「条例案件 消費税法等の一部改正に伴う教育部関係条例の整備に関する条例」について、教育部 建部次長 に説明をお願いします。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 次に、②「単行議決案件 工事請負契約の締結について」のうち 「ア 檜山・東統合小学校建築工事」 について、 教育施設課 園山課長 に説明をお願いします。

（園山課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（水委員） 児童クラブも新しい校舎に設けられるということですが、これは、市内では始めてですか。

（園山課長） いいえ。初めてではありません。空き教室を活用されているところもあります。

（水委員） 市内に何箇所ありますか。

（園山課長） 今、手元に資料を持ち合わせていません。後ほど正確な数字をご報告します。

（金築委員） 児童クラブの件ですけども、広さは、何名の児童が入ることができる計算ですか。

（園山課長） 今後の児童クラブの利用率の伸びを勘案して70人定員とし、床面積は230㎡を予定しています。

（金築委員） わかりました。

（小豆澤委員） 率直な疑問ですが、児童クラブは、税金を投入する義務的な整備が必要なものですか。

（槇野教育長） 本市では子ども政策課が所管していますが、法的な位置付けがされており、財源も別です。また、その運営に関しても財源が伴っていますので、法の裏付けを持って設置されている施設です。

（小豆澤委員） こうして新築されるところもあれば、老朽化した施設を利用されているところもありますので、お聞きしたところです。ちなみに、対象は1年生から何年生までですか。

（槇野教育長） 6年生までです。それで、今回は学校の統合に当たって、今、それぞれある児童クラブを新しい校舎に合築した方が効率的、経済的であるということで進めて

いるところ。ここ以外のところでも新たに児童クラブを建築するという計画もありますし、やはり、需要が高まってきていまして、特に近年、「待機児童」問題のように入れない児童があるという問題が生じてきています。対象学年が6年生までに広がったんですけども、キャパの問題で上級生はご遠慮いただくというような事例も見受けられます。

（小豆澤委員） それは、家で「みる」人がいないからでしょうか。

（槇野教育長） 端的に言って、そうです。また、そういう児童でないと児童クラブには入れません。もともとは、地域で有志の方が集まって始められたというのが発端ですので、市内でそれぞれに「生い立ち」が微妙に違うこともあり、大分環境改善もされてきたとは思いますが、先ほどの話のように、建物もそういう違いが残っている部分もあるということですね。それでは、先ほどお問い合わせのあった箇所数について報告をお願いします。

（鬼村課長） 余裕教室を使用している児童クラブは6クラブございます。具体的には、今市、国富、さくら、東、須佐、出東の各小学校です。小学校の敷地内に別に建てているクラブが、9校、10施設ございます。具体的には、今市、大津、四絡が2クラブ、北陽、平田、灘分、檜山、遙堪、莊原の各小学校です。

（槇野教育長） ありがとうございます。次に、②「単行議決案件 工事請負契約の締結について」のうち 「イ 新斐川学校給食センター建築工事」 について、学校給食課 金森課長 に説明をお願いします。

（金森課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（金築委員） 新センターでは何校分の給食を作られるのですか。

（金森課長） 斐川学校給食センターでは現在、2中学校4小学校4幼稚園に加え、コスモス教室の約3,000食を担当していますが、これに、今、出雲センターで担当している出雲第一中学校区であります一中、今市小、大津小、上津小、今市幼稚園、大津幼稚園、上津幼稚園の約2,000食を加え、新センターでは5,000食を担当する予定にしています。平田給食センターが5,000食規模ですので、平田と同規模のものを建設するということでございます。

（槇野教育長） 湖陵、多伎、佐田の3つのセンターを廃止いたしますので、その部分を出雲センターが担い、一中校区は斐川新センターに移し、3センター体制で市内の学校給食を賄っていくということです。

（小豆澤委員） 以前の説明で、地盤のかさ上げの話があったと思いますが、結局、何mかさ上げされますか。

（園山課長） 建物の周囲において6.9mの標高で整備をいたします。新ハザードマップの数値では6.8m程度とありますので、高水位となった場合でも給食の配送に問題のない高さになっています。現地盤からは、約1m程度かさ上げすることになります。

（小豆澤委員） 統合小学校はどうですか。

（園山課長） 向陽中学校が標高2.5mで整備をしており、合わせるかたちとなります。現在の道路から見て1mかさ上げして整備します。

（槇野教育長） よろしいでしょうか。次に、③「請願・陳情案件 出雲市立西野小学校の教室増設を求める陳情」を、教育施設課 園山課長 に説明願います。

（園山課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 次に、報告（2）「檜山小学校・東小学校 統合小学校の校名について」を、教育部 建部次長 に説明願います。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（錦田委員） 言葉尻をとるようすけども、「宍道湖から昇り」という表現は正確ではありません。以前、「夕日が沈む宍道湖」という表現で怒られたこともありましたので、行政文書においては適正にされた方がよいのではないかという意見です。

（槇野教育長） わかりました。ほかはよろしいでしょうか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） 次に、報告（3）「令和元年度出雲市保幼小連携推進事業計画について」を、学校教育課 金築課長 に説明願います。

（金築課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（水委員） 10月に交流の会を持つようになって何年目になりますか。

（金築課長） 平成26年度からですから、6年目になります。

（水委員） 現場の方からはどのようなご意見がありますか。

（金築課長） 学校の先生方からは、保護者の学校に対する不安が軽減されて入学してこられるので、先生方自身にとっても非常に有意義だという声を聞いております。

（植田部長） 加えて、小学校の児童が自分より下の子どもたちと交流するということが非常に意義のあることでして、やはり、そうした経験をとおしてその子たちが成長することができますので、学校としても良い「交流の日」となっています。

（槇野教育長） 参加率が97%くらいですので、ほとんどの親子が参加されているという状況です。最初のところでは、新たな行事が増えるということで、学校側の抵抗感もあったんですが、だんだんとこの事業に合わせるかたちで他の就学前に係る事業を統合するなどして、それぞれの学校において負担軽減に工夫をされることでようやく定着してきたかなという思いです。参加者も学校も良いかたちになればと思っています。

（槇野教育長） ほかはよろしいでしょうか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） それでは、報告（4）「令和元年度出雲市中学生議会について」を、同じく学校教育課 金築課長 に説明願います。

（金築課長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

（小豆澤委員） 当日の様子はこれまで何度も拝見しましたが、生徒代表の方の意見が生徒全員のどこまで伝わっていて、どこまでの生徒がその成果を受け止めているのか、私たちはセレモニーの一部しか分からないので、非常に不安な一面があります。結果をDVDにされて各学校に配布されたりということは聞いていますが、この取組が一般の生徒にも知れ渡っているのか知りたいということと、各クラスで討議されているとは思いますが、できるだけ多くの生徒に関与していただいて、生徒会の役員にな

った人たちのひとつの仕事にしないようにしていただきたいなと思います。

(金築課長) 6. のところに少し書いておりますけども、「中学生議会活用シート」という、いわゆるチェックシートのようなものを作成しております、全中学校で書いていただいていますので、この中学生議会の一連の活動の中でどういう取組をされたかというのは、教育委員会でもチェックさせていただいています。もちろん生徒会の方が中心になることはありますけども、質問を考えるときにはクラス全体で考えるなどして取り組んでいただいているところです。また、DVDを教材に使って授業をしましたというようなこともチェックシートであがってきますので、このあたりも確認させていただいています。どの学校も取り組んでいただいています。

(小豆澤委員) まもなく中学生議会 1 期目の子どもたちが立派に社会人として活躍する頃で、そういった声が聞こえてくると非常に成果もあつたんだろうと思いますが、まだなかなかつながってこないところです。しかし、非常に意義ある活動であると思いますので、できるだけ多くの子どもであつたり、加えて保護者さんにも伝わっていくと、より良いのではないかと思います。

(榎野教育長) 小豆澤委員がおっしゃったことがこの事業の一番の課題であると思っています。可能な限りこういった体験が広く伝わるように、取り組んでいきたいと思っています。ほかはいかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 次に、報告（5）「小学校・幼稚園エアコン整備に係る事業の進捗状況について」を、教育施設課 園山課長 に説明願います。

(園山課長) 資料に基づき説明

(榎野教育長) 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 次に、報告（6）「第3次「出雲市子ども読書活動推進計画」（案）について」を、出雲中央図書館 柳楽館長 に説明願います。

(柳楽館長) 資料に基づき説明

(榎野教育長) 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

(錦田委員) 計画の対象は中学生までということによろしいでしょうか。

（柳楽館長） 対象は、0歳児から中学生までです。

（錦田委員） わかりました。もう1点よろしいでしょうか。各学校によって「読書タイム」といわれるものがあつたりなかったりすると思いますが、これは各学校長の判断で行われるものでしょうか。

（金築課長） そのとおりです。

（小豆澤委員） 単純な質問ですが、読書が進むと、子どもはどうなりますか。読書の習慣がついたり、本を読む量が増えることによって、子どもたちはどうなるんですか。

（柳楽館長） 我々が子どもの頃は、スマホもなければパソコンもない、わからないことがあれば自分の頭で考えたはずです。いろいろな想像もして、その上で人に聞いたりもして、自分の頭で導き出そうとしていたはずです。ただ、今の時代は、スマホとかAIとかにより自分で考えることをしないで、答えを選択してしまう、そこには自分で考えるということが欠落しているのではないかと思います。やはり、自分で考えて、感受性豊かに個性のある考え方を求めるためには、読書が必要だというふうに、一般的には言われております。

（鬼村課長） 市内の保育所のひとつの例をご紹介します。読み聞かせに力を入れていて、少し難しい本の読み聞かせを低年齢のときからやるということを実践していっています。ここ2～3年くらい続けてやっていらっしゃるということで、昨年実践発表があつたんですけども、0歳から取り組んできた子どもが、2歳児の時点で社会性が非常に高いという発表がございました。0歳に聞かせてもわからないだろうという感覚もございますけども、読んでいるうちにだんだんと理解をしていくというふうなことがあるようでして、そういった例もございます。

（小豆澤委員） わかりました。

（金築委員） 第3次の計画ということで、第2次と大きく変わった点について教えてください。

（柳楽館長） 基本目標はそのままでございます。基本方針については、第2次のものに加え、今回国が第4次計画で新たに示しました「発達段階に応じた取組」というものを取り入れています。具体的な取組はどうかといいますと、これまでやってきた取組も間違つた取組ではございませんので、基本的には継承してまいります。新たな取組としては、「発達段階に応じた取組」ということで、0歳児から年齢に応じた新刊図書を積極的に保護者へ発信していったり、図書館でも乳幼児対象の絵本の更なる充実といったことを新たに取り入れております。加えて、数値目標を定めております。今回新たに「児

童書の個人貸出冊数」を数値目標にしたところでございます。

（水委員）市内の図書館はつながっていますが、学校の図書館と市内の図書館がリンクするという発想はないでしょうか。

（金楽課長）考えておりまして、予算要求もしていますが、なかなかといったところです。

（水委員）ぜひ、お願いします。

（榎野教育長）よろしいでしょうか。それでは、最後の報告案件です。報告（7）「出雲ドーム 2000 人の吹奏楽 小学生出演者の公募について」を、市民文化部 三代次長に説明願います。

（三代次長）資料に基づき説明

（榎野教育長）只今の報告について、何か質問等はありませんか。小学生の参加が近年著しく少ないということで、新たな試みを実行委員会でやってみるということです。

（金楽委員）地区の夏祭りに出るために小学校の金管バンドで練習をしている学校もありますが、そういった子たちは情報が入れば、もしかしたら出たいのかもしれない。

（榎野教育長）今回こういう取組をやるということと、参加者の確保が難しい状況になっているということを認識していただいて、今後もアイデアがあれば出していただきたいですし、一緒になって考えていければよいと思っています。

（小豆澤委員）スポーツはクラブチーム化してきていますけども、音楽はならないのですか。

（榎野教育長）そこもひとつの考え方としてあると思うんです。スポ少のように音楽でも指導者等受け皿があれば、可能であると思います。そうなれば団体としての参加もできます。

（小豆澤委員）「音楽のまち出雲の未来を担う子どもたちを応援する」以上は、それが学校の組織的な問題でできないということであれば、地域でなんとかできれば、それなかなか難しいことではありますけども。

（榎野教育長）難しいですが、考えていかないといけない課題であると思います。やはり発想を変えて、学校でやるべきものということではなくて、もっと楽しみながらできるもっと良い方法があるのではないかとかですね。

（錦田委員） 少子化の流れを考えるとその方向性しかないのではないかと思いますね。それから、そもそも音楽は自由度が高いものだから、もちろん音楽教育として学校教育の中でやることは大事なんですけども、それは授業でやればよくて、そもそも音楽とは何か、芸術とは何かと考えたときには、もっと自由度の高いもので、社会における受け皿自体の考え方を変えていかなければいけないと思います。一方で、これはこれで進めていかなければいけないと思います。

（槇野教育長） 今後も引き続き一緒に考えていかなければいけない課題であると捉えておりますので、教育委員の皆様にもよろしく願いいたします。

6 その他

（槇野教育長） それでは、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 建部次長 に説明をお願いします。

（建部次長） 資料に基づき説明

（槇野教育長） 只今の報告について、質問等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（槇野教育長） その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

（錦田委員） 閉校した学校施設の管理が十分であるかどうか、廃校になった場合、泥棒等の事案があると思うんですけども、そのあたり確認の意味でお話いただきたいですし、対策を取られていれば、教えていただきたいと思います。

（園山課長） ご指摘のとおり、以前、旭丘中学校や鶴鷺小学校で盗難等がありましてご心配をおかけしたところです。対策として、正門にフェンスを設置したり、窓にコンパネを張ったり、エアコンの屋外機が盗難にあたりしておりますのでそういったものを撤去したり、加えて不審者の侵入の際に威嚇するためにパトライトを設置したり、各学校の状況に応じて対策はとっております。また、正月やお盆といった時期が被害に合うことが多いですので、そうした時期の前後に職員が点検に歩いたりしています。

（錦田委員） 私は文化財の審議委員もしておりまして、重要度が比較的低い歴史的資料の一部を廃校舎に保管しているという施策があったんです。学芸員の感覚から言うとナンセンスな話なんです。ありえない話でありましたので、その点は既にクリアされているとは思いますが、文化財についても同じ被害を被りうる可能性がありますので、話はそれてしまいましたが、空き校舎の管理を徹底していただきたいということと、そこに保管すべきものと保管すべきでないものとの判断を行政全体としてしっかりし

ていただきたいと思います。

（槇野教育長） 内部で確認をしていきたいと思います。ほかはございませんか。

（各教育委員） ありません。

7 次期教育委員会の開催時期

（槇野教育長） 次期教育委員会の日程ですが、7月23日（火）の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。

閉会

（槇野教育長） 以上をもちまして、令和元年6月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:31) 定例教育委員会閉会